

第127回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

当座預金	受取手形	売掛金	前払金
貸付金	未収入金	立替金	他店商品券
仮払金	支払手形	買掛金	借入金
未払金	前受金	預り金	商品券
仮受金	貸倒引当金	引出金	売上
受取手数料	貸倒引当金戻入	償却債権取立益	仕入
貸倒引当金繰入	貸倒損失	租税公課	旅費交通費

1. 中京商店から商品 ¥ 200,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 90,000 については中京商店を名宛人とする約束手形を振り出して支払い、残額については掛けとした。
2. 名城商店に対して商品 ¥ 70,000 を注文し、内金として ¥ 30,000 の小切手を振り出して渡した。
3. 前期に貸倒れ処理していた愛知商店に対する売掛金 ¥ 120,000 のうち、¥ 90,000 が回収され、当座預金の口座に振り込まれた。なお、貸倒引当金勘定には ¥ 90,000 の残高がある。
4. 出張中の従業員から当座預金の口座に ¥ 180,000 の入金があった。このうち、¥ 140,000 については得意先金城商店から注文を受けた際に受け取った手付金であることが判明したが、残額 ¥ 40,000 の詳細については不明である。
5. 個人商店である椛山商店は、営業用店舗の固定資産税 ¥ 200,000 と、事業主の所得税 ¥ 150,000 を当座預金の口座振替により納付した。